令和7年度 法科大学院入学者選抜試験問題

民法

- 1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
- 2. 試験時間は90分です。
- 3. 試験中に問題用紙の印刷不鮮明や解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 4. 解答にあたっては、必ず黒か青のペンまたはボールペン(鉛筆は不可)を使用してください。
- 5. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
 - (1) 受験番号・氏名を所定欄に記入してください。
 - (2) 解答用紙は、3 枚あります。すべての解答用紙に受験番号・氏名を記入し、ホチキスは、はずさないで使用してください。
 - (3) 訂正する場合は、=線で消すなどして、分かりやすく訂正してください。
- (4) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
- 6. 問題用紙の余白等は適宜利用してかまいません。
- 7. 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

【民 法】

- I 次の各文章について、条文及び判例に照らして括弧内に入るべき適切な語句を答えなさい。(各 4 点)
 - (1) 相手方の急迫・軽率・無経験に乗じて過大な利益を得る法律行為は公序良俗違反により無効である。このような行為を()という。(漢字4字)
 - (2) 名誉は()の一種として差止請求の根拠となる。(漢字3字)
 - (3) 債務不履行責任による損害賠償の範囲の判断において、特別事情の存在の予見の有無は () の時点を基準とする。(漢字3字)
 - (4) 賃貸借の目的物が無断で転貸された場合でも、これが () 的行為と認めるに足らない特段の事情があれば、解除権は発生しない。(漢字2字)
 - (5) 死者に相続人がいない場合、() が相続財産を取得することがある。(漢字5字)
 - (6) いわゆる「相続させる」遺言の法的性質は、遺産の分割の () の指定である。(漢字 2字)
 - (7) 金銭の所有者は、原則として()者である。(漢字2字)
 - (8) 不動産について抵当権の設定を受けている債権者は、抵当権の目的不動産から生じる賃料についても()により権利を行使することが出来る。(漢字 4 字)
 - (9) 甲が建物賃借人乙との間の請負契約に基づき建物の修繕工事をしたところ、その後乙が無資力になったため、甲の乙に対する請負代金債権の全部又は一部が無価値である場合において、上記建物の所有者丙が法律上の原因なくして上記修繕工事に要した財産及び労務の提供に相当する利益を受けたということができるのは、丙と乙との間の賃貸借契約を全体としてみて、丙が()なしに上記利益を受けたときに限られる。(漢字4字)
 - (10) 嫡出でない子につき、父から、これを嫡出子とする出生届がされ、又は嫡出でない子としての 出生届がされた場合において、各出生届が戸籍事務管掌者によって受理されたときは、その各 届は()届としての効力を有する。(漢字2字)
- Ⅱ 次の各間について、それぞれ10行以内で答えなさい。(各20点)
 - (1) 令和 4 年に成立した法改正により、嫡出否認の訴えが、子の父のみならず、子自身や子の母からも提起しうるものとされた(民法 774 条以下)。このような改正がどのような必要性によるものであったか、社会的事情や法的問題と関連付けて説明しなさい。
 - (2) いわゆる素因減額について、その意義と問題の所在を述べた上で、判例の立場を説明しなさい。
- III 次の〔事実〕を読んで、下記の各問に答えなさい。(40点) 「事実〕

Aは甲土地(市場価値1億円)を所有していた。

Bは、虚偽の事実を述べるなどして言葉巧みにAをだまし、令和4年4月1日、Aとの間で、甲

土地を 5000 万円で購入する契約を締結し、所有権移転登記をした。

しかし、A は B に騙されていたことに気付き、同年 6 月 1 日、B に対し、「甲土地の売買は詐欺によるものであるから、甲土地を返還してほしい」と申し入れたが、B はこれを無視し、返信しなかった。

B は、同年 7 月 1 日、甲土地を C に対して 3000 万円で売却し、所有権移転登記をした。なお、C は甲土地を B が A から取得した経緯を知っていた。

Cは、同日、Dとの間で、甲土地を、期間30年、賃料月額50万円で賃貸する契約を締結し、同日、 甲土地を引き渡した。Dは、同年8月1日までに甲土地上に簡易な構造の建物を建設した。

[間1]

AはCに対して、甲土地の返還を請求することが出来るか。

〔問 2〕

[問 1]の請求が認められる場合、AD 間の法律関係について、必要ならば場合分けも行いつつ検討しなさい。

以上